様式３(2020.06改)

作成日　令和　２年　９月　５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000440
事業所名	愛の家グループホーム豊橋牛川薬師町

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	天気と本人の体調次第としていた散歩は、さらに人気のない涼しい時間帯という条件が加わり、隣の公園は大変助かる存在となっています。地域行事はことどとく中止ですが、家族は布マスク、建物のオーナーからは花や野菜の苗が届いています。特にトマトは一般的なミニトマトだけでなく多品種がそろい、味の違いを知ることが楽しみとなっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	東三河広域連合へ電話で問い合わせ、３月と５月は中止とし、７月はメンバーに資料を送って開催の代わりとしています。その後「延期（を許す）」「書面開催」の情報を得て、８月に「３月と５月を延期した」とする代替開催をおこなっています。９月からは所内での話し合いをまとめたものをメンバーに送付する「書面開催」としてゆく予定です。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	地域包括支援センター職員は朗らかで運営推進会議を盛り上げてくれる唯一無二の存在で、コロナ禍も明るい対応に気持ちが助けられています。また東三河広域連合の案内は今までは書面郵送だったのが、「慰労金の手続き方法をアップしました。見てください」といったメール配信が最近では主になり、情報スピードがアップしています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	面会自粛のため、家族とは電話での関わりを続けてもらっています。現管理者が2年前に着任した頃は掃除一つとっても行き届かなかったのが今では法人並びに外部評価のアンケートであげられることもなくなり、家族も改善点があれば気軽に直接言ってくださっています。また、将棋が趣味の利用者と時間をみつけては対局するなど、馴染んだことをそれぞれ継続してもらえています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										